

【実践報告⑥】

目標設定し、見通しと振り返りを通じた、自ら学ぶ力の育成

愛知県立豊丘高等学校

1 はじめに

豊丘高校は、豊橋市の東部に位置し、各学年普通科5クラス・生活文化科2クラスの合計21クラスの2学科を併設した全日制の高等学校である。普通科は2年次より文系と理系の2コースに分かれ、3年生の文系は私立型と国公立型にコース分けをしている。生活文化科は2年次よりライフコース・フードコース・ファッションコースの3コースに分かれ、特色ある授業を行っている。

本校は「豊かな知性と円満な情操と強固な意志とを兼ね備えた、心身共に健康で良識をもった人材の育成」という教育目標の下、主体的に課題を発見し、粘り強く解決しようとする生徒や、強い意志をもち、高い目標を実現しようとする生徒の育成を目指している。

また、普通科の生徒の8割以上が四年制大学へ進学しており、その他の生徒は専門学校などに進学している。生活文化科の生徒においても9割以上の生徒が大学・短大・専門学校へ進学しており、就職者は1割に満たない。

2 実践

(1) 研究主題とその経緯

こちらから何かきっかけを与えないと、自ら課題を発見し、自ら学ぶとする生徒が少ないという本校生徒の現状から、今回の研究主題を「目標を設定し、見通しと振り返りを通じた、自ら学ぶ力の育成」とした。この取組により、自ら課題を発見し、探究的に学び続けていく生徒を育てていきたいと考えている。

(2) 学校行事による実践

ア 方法

資料1のワークシートを使用し、学校行事の場面で学びのAAR（Anticipation（出あう）・Action（学ぶ）・Reflection（振り返る））サイクルを回していくことを考えた。生徒は、【出あう】においては、全体の目標を示し、どう取り組みたいかを考え、個人の目標を設定した。【学ぶ】においては、行事にどう関わり、どう行動していきたいかを考えた。【振り返る】においては、行事の本番でどのように考えて行動したか、何を学んで何を感じたか、次の行事や授業にどう生かしていきたいかを考えた。

【資料1 ワークシート（行事ノート）】

愛知県立豊丘高等学校 行事ノート			
行事は仲間と作り上げる！日、情報に行事に関わり、自分の役割を果たそう！ 終了後にはチームワークの視点から行事を振り返り、次に生かせるようにしよう！			
年 組 番 名前（ ）			
行事名【 普通科学校説明会・生活文化科体験入学 】			
準備シート（Anticipation）			
1. 以下の質問に答えてください。（○を付ける）			
(1) 学校説明会（リバーポイント）の作成について、どれくらいがんばろうと覚えていますか？			
すごくがんばりたい	がんばりたい	ほどほどにがんばりたい	やれることを
(2) 当日の係（受付係・会場誘導係・全体取組係・校内探検ツアー係）について、どれくらいがんばろうと覚えていますか？			
すごくがんばりたい	がんばりたい	ほどほどにがんばりたい	やれることを
(3) 当日の係はどの係をやりたいたいと考えていますか？			
受付係	会場誘導係	全体取組係	校内探検
2. この行事における、全体の目標は何ですか？			
『学校説明会・体験入学を通して、豊丘の魅力を伝えてもらう！』			
3. 全体の目標の達成に向けて、この行事にどのように取り組みたいですか？			
4. この行事における、あなたの目標は何ですか？			
5. あなたの役割が果たれること、それについてうけることを書く。			
役割が果たれること		うけること	
振り返りシート（Reflection）			
1. あなたは当日の係として、どのように考えて行動しましたか？			
2. 個人として、全体として主体的に取り組む、協力、連携しなげられましたか？			
個人として		全体として	
3. 今回、オープンスクール委員として行事に関わり、学んだこと、感じたことを書く。			
4. 次の行事（豊橋駅）に生かしていきたいことは何ですか？			
5. 自己評価（○を付ける）			
(1) 学校説明会（リバーポイント）の作成について、どれくらいがんばりましたか？			
すごくがんばれた	がんばれた	ほどほどにがんばれた	やれることをやれた
(2) 当日の係（受付係・会場誘導係・全体取組係・校内探検ツアー係）について、どれくらいがんばりましたか？			
すごくがんばれた	がんばれた	ほどほどにがんばれた	やれることをやれた

イ 実践

まずは、夏季休業中（8月）に行う本校への進学を考えている地域の中学3年生を対象とした学校説明会での実践を試みた。1・2年生の各クラスに2名、合計28名のオープンスクール委員に1学期中間考査後（6月）の委員会において、本取組の趣旨とワークシート（前ページ資料1）の記入について説明し、オープンスクール委員として学校説明会に「どのように取り組みたいか」「個人の目標」の2点を記入させた。生徒たちは、夏季休業前（7月）に、個人の目標を達成するために「どのようにがんばっているか」や「本番にどのように行動したいか」を記入し、また学校説明会后に、「どのように考えて行動したか」「学んだこと・感じたこと」を振り返り、「次に生かしていきたいこと」と併せて記入した。

ウ 成果

資料2から資料4は、本校2年生のあるオープンスクール委員が書いた行事ノートである。資料2の「行事ノート（準備シート）」には、「一人でも多くの中学生に豊丘の魅力を感じさせるために、自分と同じ経験をさせることで、豊丘の魅力を知ってもらおう。そのために、考えて動けるようにしていきたい」と記述されており、自分が中学生のときに参加した学校説明会でよかったと感じたことを、中学生に伝えていきたいという意欲を感じられた。

資料3の「行事ノート（プロセスシート）」には、「自分で周りを見て気付き、周りの人とコミュニケーションをとり、臨機応変に対応できるようにする」と記述されており、先輩として、1年生と積極的にコミュニケーションをとって、学校説明会をよりよいものにしていこうとする意思が感じられた。

資料4の「行事ノート（振り返りシート）」には、「中学生がリラックスして話を聞けるようにコミュニケーションを多くとることを意識した。発表を通じて、人に物事を伝えることの大切さと、難しさを学ぶことができた。文化祭ではクラスの人たちと、しっかりとコミュニケーションを取り合うようにしてい

【資料2 行事ノート（準備シート）】

3. 全体の目標の達成に向けて、この行事にどのように取り組みたいですか？	
豊丘で中学の時に、オープンスクールに行き、そこで中学校に魅力を感じたという経験が、あつた。自分たちが、このオープンスクールで、1人で多くの中学生に豊丘の魅力を伝えるために、そのために考え、動けるようにしていきたい。	
4. この行事における、あなたの目標は何ですか？	
1人で多くの人に、ある学校に魅力を感じた自分と同じ経験を豊丘でさせることと、また自分に打ち勝ち、自分を高め、行動すること。	
5. あなたの役割や関われること、それについて心がけることを書こう。	
役割や関われること	心がけること
自分にもう一度、豊丘に魅力を感じた経験が、あつた。そこで、その経験から、中学生の気持ちに、自分から積極的に動いて、魅力を伝えるようにしたい。	自分が中学生だった時のことを考え、気づき、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。

【資料3 行事ノート（プロセスシート）】

プロセスシート (Action)			
1. あなたは、学校案内（パワーポイント）の作成について、どのようにがんばっていますか？			
豊丘に魅力を感じた経験が、あつた。そこで、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。			
2. あなたの当日の係はどれですか？（○を付ける）			
受付係	会場誘導係	全体説明係	校内探索ツアー係
3. あなたは当日の係として、どのように考えて行動したいですか？			
中学生に、豊丘の魅力を感じさせるために、自分と同じ経験をさせることで、豊丘の魅力を知ってもらおう。そのために、考えて動けるようにしていきたい。			

【資料4 行事ノート（振り返りシート）】

振り返りシート (Reflection)			
1. あなたは当日の係として、どのように考えて行動しましたか？			
中学生が、リラックスして話を聞けるようにコミュニケーションを多くとることを意識した。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。			
2. 個人として、全体として主体的に取り組み、協力、連携しながらできましたか？			
個人として	全体として		
自分のために、積極的に話し合い、コミュニケーションを取ることができた。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。	自分のために、積極的に話し合い、コミュニケーションを取ることができた。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。		
3. 今回、オープンスクール委員として行事に携わり、学んだこと、感じたことを書こう。			
パワーポイントを用いて、発表を前に、人に物事を伝えることの大切さと、難しさを学ぶことができた。また、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。			
4. 次の行事（豊丘祭）に生かしていきたいことは何ですか？			
文化祭や合同コンクール準備期間など、時に、2年生の多くがコミュニケーションを取ることができ、その経験から、中学生に魅力を伝えるようにしたい。			
5. 自己評価（○を付ける）			
(1) 学校案内（パワーポイント）の作成について、どれぐらいがんばれましたか？			
すごくがんばれた	がんばれた	ほどほどにがんばれた	やれることをやれた
(2) 当日の係（受付係・会場誘導係・全体説明係・校内探索ツアー係）について、どれぐらいがんばれましたか？			
すごくがんばれた	がんばれた	ほどほどにがんばれた	やれることをやれた

たい」と記述されており、今回の経験を通して感じたコミュニケーションの大切さを次につなげていこうという意識が見られた。

この生徒の記述から、準備シートで設定した自らの目標に向けて、自ら考え実践し、自らの体験を振り返ることで、次への学びにつなげていこうとする意欲を感じ取ることができた。

3 実践の成果と課題

学校行事の場面で学びのAARサイクルを回した結果、生徒が自身でどのようにがんばったかを振り返り、それをどのように次に生かしていきたいかを考えさせることができた。

この取組を、学習面でも生かせないかと考え、「授業目標・振り返りノート」(資料5)を作成した。これを基に、生徒が自ら単元の目標を設定し、授業におけるAARサイクルを回せるようにできないかと考えている。生徒が【出あう】場面では、授業者が単元目標を示した後に、その単元目標の達成に向けて、自分自身の目標(あるいは課題)を考える。【学ぶ】場面では、自ら設定した目標の達成に向けて何をすべきかを毎時間考える。【振り返る】場面では、自ら設定した目標(あるいは課題)達成のために、どう取り組んだかを振り返り、次の単元にどのように生かしていくかを考える。これらを繰り返していくことで、生徒が自らAARサイクルを回し続ける力が育まれると考えている。

この取組を、実際に対象を絞って実施してみた。1年生1組から3組までの生徒120名を対象に、「数学I」の「第4章 図形と計量・第1節 三角比」「第4章 図形と計量・第2節 三角比への応用」「第5章 データの分析」の三つの単元で実践した。単元の最初の授業で、取組の趣旨やワークシートの利用方法等を説明し、使用している教科書を見ながら、「この単元では何を学ぶのか」「単元目標を達成するためにはどういった目標」を立てればよいかについて考えさせてみた。そして、授業後に「授業を振り返り、次の授業に生かす」という視点でプロセスシートを記入するように促した。また単元終了時にも、単元全体を振り返らせ、次の単元にどのように生かしていくかを考えさせた。

【資料5 授業目標・振り返りノート】

愛知県立豊丘高等学校 【授業目標・振り返りノート】

目標をたてて授業を受けるようにしましょう！
そして、振り返りをし、次の授業に生かすようにしましょう！

年 組 番 名前

教科名	単元	科目名

準備シート (Anticipation)

1. 単元目標

①

②

③

2. 単元目標の達成に向けて、あなたの目標(課題)は何ですか？(自分のレベルにあわせて具体的に記入)

プロセスシート (Action)

1. 単元目標の達成に向けて、どのように取り組んでいますか？(簡潔に記入)

月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	
月 日 ()	

振り返りシート (Reflection)

1. 単元目標は達成できましたか？

よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった

2. この単元であなたの目標(課題)達成やレベルアップのために、どのように取り組みましたか？

3. 次の単元に生かしていきたいことは何ですか？(次単元:)

2. 毎時間、プロセスシートに振り返りを書くことで、次の授業に生かすことができましたか？

詳細 インサイト

できた 102
できなかった 14



4. 各単元において、より具体的に目標に向かって取り組むことができるようになりましたか？

詳細

できた 105
できなかった 11



資料6は2学期期末考査後(12月)に実施したアンケートの結果である。「2. 毎時間、プロセスシートに振り返りを書くことで、次の授業に生かすことができましたか?」「4. 各単元において、より具体的に

目標に向かって取り組むことができるようになりましたか？」の項目をみると、どちらもできたと回答した生徒が9割近くいた。しかし資料7のように「6. 振り返りシートで単元を振り返り、次の単元に生かすことができましたか？」の項目については、できたと回答した生徒が7割程度であった。この結果を受け止め、次年度にはこの反省を生かしながら、学校全体で「授業目標・振り返りノート」の実施に取り組んでいきたいと思っている。

【資料7 アンケート結果】

6. 振り返りシートで単元を振り返り、次の単元に生かすことはできましたか？

詳細

インサイト

● できた 79
● できなかった 37



4 おわりに

本年度の研究を進めていく中で、「教員間の連携」や「教員と生徒との共通理解（目的の共有）」が不十分であったことを強く感じた。今後も職員会議等を利用して教員間の連携を深めるだけでなく、生徒にも研究の趣旨とその期待する効果を分かりやすく説明することで「自ら学ぶ力の育成に関する研究」を学校全体で取り組んでいきたいと考えている。